

アパートで聞いた話

小川未明

青空文庫

そのおじさんは、いつも考えこんでいるような、やさしい人^{ひと}でした。少^{しょう}年^{ねん}は、その人^{ひと}のへやへいきました。

「なにか、お話を^{はなし}してくださいませんか。」と、たのみました。

「どんな話^{はなし}かね。」と、おじさんは、聞^ききました。

「どんな話^{はなし}でもいいのです。」と、少^{しょう}年^{ねん}がいうと、おじさんは、つぎのような話^{はなし}をしてくれたのです。

二、三日^{にち}まえの新聞^{しんぶん}にあつたが、街^{まち}の中^{ちゆう}央^{おう}へビルデイングができるので、地^ちを深^{ふか}くほりさげていると、動物^{どうぶつ}の骨^{ほね}が^で出てきた。それを学^{がく}者^{しゃ}がしらべて、およそ二万^{まん}年^{ねん}も前^{まえ}の人^{にん}間^{げん}の

骨^{ほね}で、まだ若い二十歳^{さいぜんご}前後の女^{おんな}らしいが、たぶん波^{なみ}にただよつて、岸^{きし}に死体^{したい}がついたものだろう。この街^{まち}のあるところが、当時^{とうじ}は海^か岸^{いがん}であつたのがわかるというのだ。

この記事^{きじ}を見て、私は考^{わたし}えさせられた。大和族^{やまとぞく}より、もつとさきに住^すんでいた民族^{みんぞく}であろう。そのような遠^{とお}い昔^{むかし}から、人^{じん}類^いには悲^{かな}しみや、不幸^{ふこう}というものが、つきまとつていたのを知^しつたからだ。いかなる災難^{さいなん}か、またなやみからで、その女^{おんな}は死^しんだのであるが、若い身^みでありながら、人生^{じんせい}のよろこびも、たのしみも、じゆうぶん知^しらずして、死^しんでしまったのだ。

幾^{いく}十世紀^{せいき}かの間^{あいだ}には、海^{うみ}が陸^{りく}となつたり、また陸^{りく}が海^{うみ}になつたりして、おどろくような事^じ実^{じつ}があるにちがいないが、それよりも、

人間にんげんの生命いのちのはかなさというものを、より強くつよ感じかんられる。そして、いつの世よでも、一生しょうをぶじ幸福こうふくに生いきるということは、容易よういのことでないらしい。

このアパートの、下したのへやにいる娘むすめさんをごらん。つとめに出でるときは、お化粧けしょうをして、そのふうがりっぱなので、人目ひとめには、いきいきとして、美うつくしくうつるので、さぞゆかいな日ひを送おくつてるだろうと思おもうけれど、家いえへ帰かえって、仕事しごとをするときのすがたを見ると、つかれて顔色かおいろが青白あおしろいじゃないか。母親ははおやが病氣びようきで長ながくねていては、自分じぶんは気分きぶんがわるいからとて、休やすむことさえできないのだ。

ゆうべも、この窓まどから大空おおぞらをながめると、数かずえきれないほど

の、たくさんな星ほしの群むれだ。それらの星ほしが、思い思い美しく光ひかつ
ている。なんとなく、見みていてうらやましい。おそらく、永えいきゅ
久うに夜よごと、こうしてさんらんとして輝かがやくことだろう。それだ
のに、人間にんげんだけは、どうして、こんなにはかないのだ。

わたしおも
私は思おもった。人間にんげんには、みずからをまもり、あいてをとうと

ぶという美うつくしい道みちがあつたのを忘わすれたからである。それで、破滅はめつ

をいそぐような、自殺じさつをしたり、戦争せんそうを起おこしたりするのだ。

自然しぜん界かいに法ほう則そくがあれば、人間にんげん界かいにも法ほう則そくがある。どの

星ほしを見みても、ほこらしげに、また安やすらけく輝かがやくのは、天体てんたいの法ほう

則そくを守るからだ。もし、星ほしが、軌道きどうをあやまつなら、瞬しゅん間かん

にして、くだけで、ちつてしまつたろう。

「おじさんは、星ほしを見るみのが好きですか。」と、少年しょうねんは、聞ききました。

「わたしわたしは、子供こどもの時分じぶん、星空ほしぞらを見るみのが、なにより好きすだった。
神さまかみのかいた絵えでも見るみようで、いろいろふしぎな空想くうそうにふ
けたものだ。」

「どうも、ありがとうございました。」と、少年しょうねんは、おじさ
んのへやを出でました。

つぎに少年しょうねんは、元気げんきな、ほかかな青年せいねんに話はなを聞きこうと
思おもいました。

「お兄さん^{にい}、なにか話^{はなし}をしてください。」と、たのみました。

「どんな話^{はなし}だい。」と、ふいにいわれたので、彼^{かれ}は、おどろいて、少年^{しょうねん}の顔^{かお}を見^みました。

「なにか、ためになるような。」と、少年^{しょうねん}がいうと、青年^{せいねん}は、うなずきながら、

「それなら、感^{かん}心^{しん}したことがあるよ。それを聞^きいてもらおうか。」と、まえおきして、

「このあいだ、にぎやかな町^{まち}の通^{とお}りを歩^{ある}いたのだ。せまい往^{おう}来^{らい}を自^{じてん}転^{しゃ}車^{はし}が走^{はし}り、自^{じどう}動^{しゃ}車^とが通^{とお}り、ときどき道^{みち}はばいっぱいの、トラックがいく。そのうえ、人^{にん}間^{げん}でごったがえしていた。じつ

さい、どこもかしこも、人間にんげんばかりだという感じがした。両りやうが
 わの店みせでは、たがいにおなじような品物しなものをならべて、競争きやうそう
 をしあっている。どこを見ても、ただ自分じぶんだけは生きなければな
 らぬとあせているので、すこしものんびりとしたところがない。
 もし、おたがいに気持ちきもちをかえて、生活せいかつを新しく出あたら
 しなれば、人間にんげんは、死ぬまで、この苦しみくるしみをつづけなければ
 ならぬだろうと、おそろしくなったよ。」
 「しかし、お兄さんにいは、いつもゆかいそうに見えるがなあ。」と、
 少年しょうねんは、いいました。なぜなら、頭あたまはきれいにわけているし、
 くつはぴかぴか光ひかっているし、口笛くちふえなどふいて歩あるくし、どこに
 も、苦勞くろうなんか、なさそうだからでした。

「そんなに、ぼくが見えるかえ。」と、青年は笑つて、話のあとをつづけました。

「それは、ぼくもたまには、ダンスをやるし、映画や、スポーツを見にもいくさ。なにしろ息づまるような世の中だもの、それくらいはしかたがないだろう。だが、そんなことしたつて、なんにもならないよ。ただゆううつを感じるばかりだ。ところが、ほんとうに考えさせられることがあつた。町を歩いていたときだ。とつぜん、頭の上の拡声器から、女の声が、がなりはじめて、夏のものの投げ売り宣伝や、駅前におもてなしに喫茶店が開業した広告や、その他うるさくさえ思つたのを、なに町なん丁目にく

つ店^{てん}では、みなさまにいい品^{しな}をお安く^{やす}サービスしますといったので、ぼくは、さっそくその店^{みせ}へいつてみる気^きになった。それほどくつが^{ひつよう}必要にせまられていたのだ。すると、たしかにほかの店^{みせ}よりは、よい品物^{しなもの}が安く^{やす}買えるので、求めたのである。

『時節^{じせつ}がら、みなさまの身^みにもなってみまして、てまえどもは、食べていければいいという精神^{せいしん}で、ご奉公^{ほうこう}をしています。』
と、主人^{しゅじん}は、いった。いまどきこんな考^{かん}えをもつものがあるうかと、なんだか、うそのような気^きがしたけれど、無上^{むじょう}にうれしかった。そして、急^{きゅう}にこの世^よの中^{なか}が明^あるくなつたよう^{あか}で、希望^{きぼう}がもてたのである。たとえ、食^くうために、身^みを機械^{きかい}にしてアナウンスしても、あの女^{おんな}までが、いい仕事^{しごと}をしているように見^みえて、ぼ

くは、自分じぶんを恥はずかしく思おもつたのだ。」

「お兄にいさん。すると、自分じぶんのことばかり考かんえず、他人たにんのことも思おもうなら、この世よの中なかは、明あかるくなるんですね。」と、少年しょうねんは、聞ききました。

「それも、一人ひとりや、二人ふたりではだめだ。道みちを歩あるくもの、電でん車しゃに乗のるもの、めいめいが職しよく場ばをもっている。そして、社しゃ会かいと関かん係けいのない仕事しごとというものはないのだから、みんなが、その気きになればいいと思おもうのだよ。」

ふたりふたりはなはしきき二人ふたりの話はなしを聞きいて、その日ひから、少年しょうねんに、アパあーぱーートの人ひと々びを見みななおおす気きがおこつたのでした。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 14」講談社

1977（昭和52）年12月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第5刷発行

底本の親本：「太陽と星の下」あかね書房

1952（昭和27）年1月

※表題は底本では、「アパートで聞《き》いた話《はなし》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2018年8月28日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

アパートで聞いた話

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>